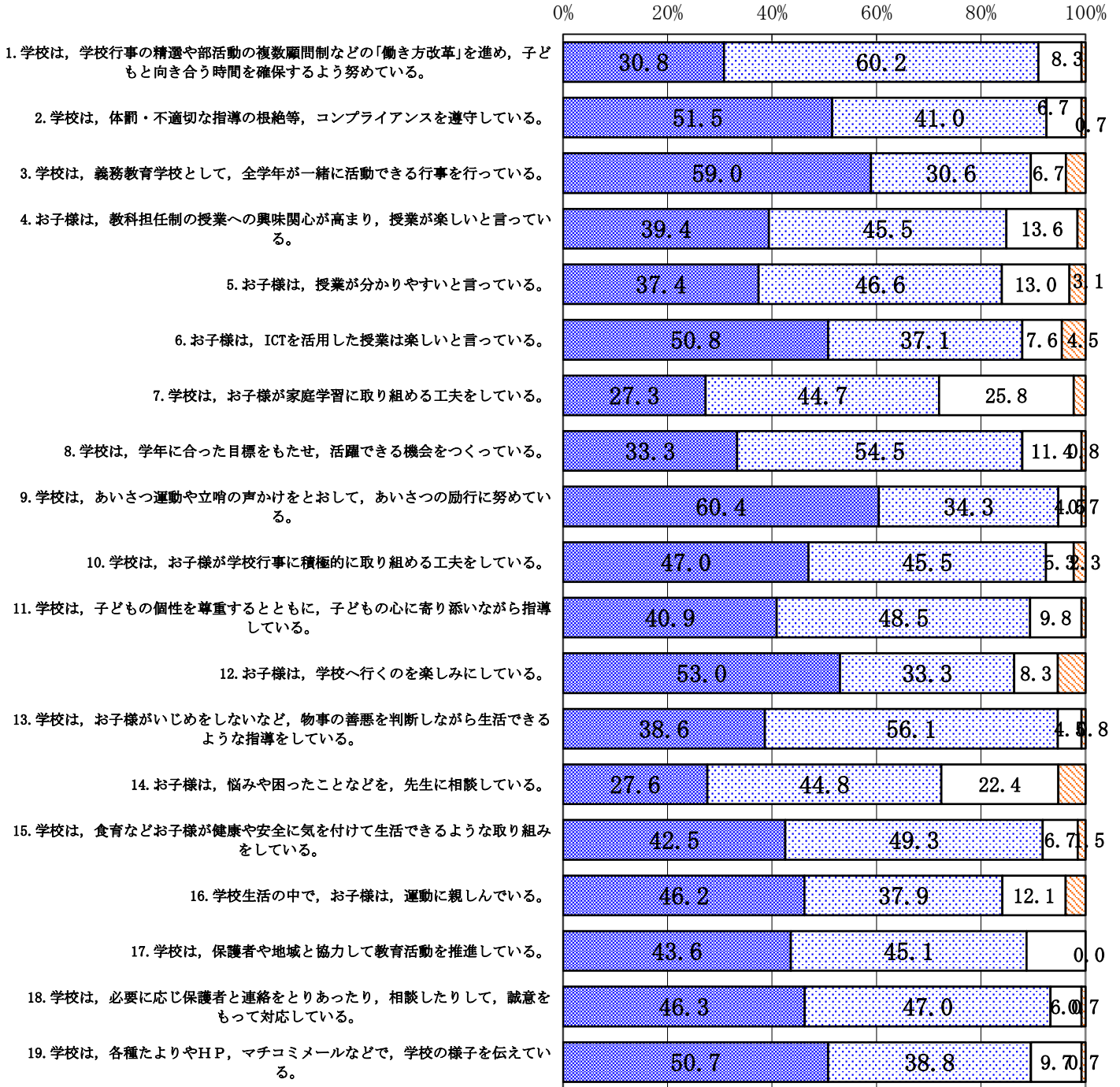


令和4年度 7月 学校改善アンケート(保護者) 前期課程

全体

■当てはまる □大体当てはまる □あまり当てはまらない □当てはまらない



○ 「豊かな心と夢を持ち続ける児童生徒の育成」(項目8～13)について評価が高い。「当てはまる」「大体当てはまる」の割合が80%後半から90%(台)特に「あいさつの励行」「いじめをしないなど物事の善悪の判断についての指導」への理解が得られている。

○ 「地域とともにある学校づくり」(項目17～19)についての評価も高い。日頃から、先生方が保護者や地域との関りをていねいに行っていることが評価されていると思われる。

▲ 家庭学習(項目7)についての学校の取り組みに対する評価が低い。今年度、「学習の手引き」の見直し(精選)を図り、冊子から端末への掲載への移行を行ったが、児童生徒、保護者へ浸透していないように思われる。折に触れ伝えていくことも必要である。

▲ 悩みや困ったことなどを、先生に相談している(項目14)に対しての評価も低い。学年別に見ると、学年が上がるにつれて評価が高くなっており、低学年では、相談の様子が伝わりきれていないとも考えられる。ただ、結果を真摯に受け止め、これまで以上に子どもたちとの関りを深め、相談体制を確立していくことを意識していきたい。

<自由記述から>

ご理解をいただくことができていく意見が多い中、以下の内容についての指摘が多く見られた。

- ・iPadについて(持ち帰ることについて、使用方法について)
- ・お便りの電子化
- ・マチコミの連絡(遅い、急)
- ・行事の開催時期、内容
- ・その他(本戸方面の交通安全、後期課程のスクールバックの見直し、給食について)